

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/ において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

第66期報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成31年3月31日

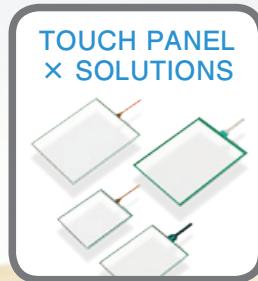
NKKスイッチズ株式会社

すべてのお客様の製品の品質向上に役立つべく、NKKは絶えず革新し続けます

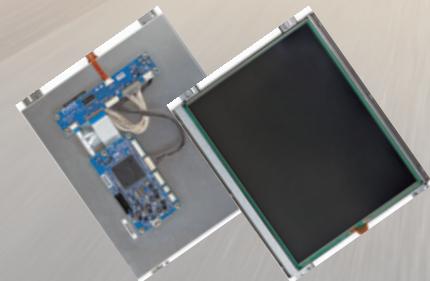
New Solutions

お客様のしたい「コト」を提案するNKKのソリューション

NKK × SOLUTIONS



New Products



TP01シリーズ
タッチパネルモジュール
ハード/制御ファーム/画面設計ツールの
セット提供で簡単導入!

New Products



Sシリーズ
防水形 (IP68) トグルスイッチ
ダブル防水構造で防水信頼性を向上

厳しい市場環境ではありましたが、
売上高はほぼ前期実績を達成。
引き続き「Change」にこだわり、
企業体質の強化に努めます。

代表取締役社長

大橋智成



この1年間の外部環境と、
当期業績の概況をお聞かせください。

2019年3月期における世界経済は、米国の保護主義的な通商政策を発端とする米中貿易摩擦の激化等により、減速リスクが高まりました。日本経済につきましても、企業収益の改善に足跡が見られるなど、安定感を欠く状況が続いております。当社が属する制御機器市場は米中の通商問題の動向のあおりを受け、NECA（一般社団法人日本電気制御機器工業会）によれば2018年度の制御機器出荷総額は前年比95.6%と低迷しました。

厳しい外部環境の中、当社グループは2017年4月から4年にわたる中期経営計画「Change100」のもと、産業用スイッチの分野において「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番に選ばれるスイッチサプライヤー」となるべく、「グローバル化対応」と「勝てる武器の創造」を軸とした基本戦略を推進いたしました。良いモノを作ればお客様が来てくれた時代から、需要と供給が逆転しているとも言える現在において、お客様との接点を拡大したソリューションビジネスへの転換を進め、インターネットによる販売強化に努めるなど、施策を積極的に展開いたしました。一方で、原材料費の高騰、中国・日本における人件費の増大、フィリピン・マ

クタン工場建設に伴う経費の高止まり、中国子会社の設立準備に伴う諸経費の増加、さらには貿易摩擦の拡大による影響など、経費的に多くの課題が残る期間となりました。

これらの結果、当社グループの2019年3月期における売上高は76億6千4百万円（前年同期比0.8%減）、営業損失は3億3千5百万円、経常損失は2億9千4百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は4億6千7百万円となりました。

ソリューションビジネスの進捗は
いかがでしょうか。

従来はいいモノを作れば売上が伸びるというビジネスでしたが、世の中が変化して、そうしたやり方だけでは通用しない時代になりました。このため当社はヒューマン・マシン・インターフェイスを提供する企業として、スイッチ単独ではなくスイッチ周辺も含めてお客様の困り事に対してソリューションを提供するという戦略へ大きく舵を切ることになりました。お客様の困り事に対して対応するには、販売、生産、開発といった社内組織が、機能別の指揮系統を乗り越えてシームレスに活動することはもちろん、スピードを上げて対応する必要があります。そこで、2018年4月に「ソリューション事業部」を新設し、ビジネスを加速させるため機能別の組

織から独立させ、組織としての役割と責任を明確にしました。その効果もあり、ソリューションの売上高は前年同期比146%の実績となりました。

また、2019年1～2月に東京、大阪、名古屋で開催したプライベートショーでは、NKKの考えるソリューションを浸透させるために、展示の有り様を根底から変えました。従来はあらゆるタイプのスイッチをとこ狭しと並べたスタイルの展示会でしたが、今回はスイッチやタッチパネルを使ってこんなことができるあんなことができるというソリューション事例提案や、実際に周辺装置を作って納入した事例などを紹介しました。さらには当社単独ではソリューションできない事例についても、当社と提携するデザインハウス（コンピュータ回路設計・ソフト開発専門会社）とコラボレーションすることでより広いソリューションを提供できることを実感いただきました。いずれも盛況で、多数の参加をいただきました。また当社へ部品を納入載っている協力会社の皆さまにも、当社の取り組みを同様の展示によりご説明いたしました。お客様の困り事を解決するNKKの「コト売り」をより深く理解できたという声も多く、代理店・協力会社から好意

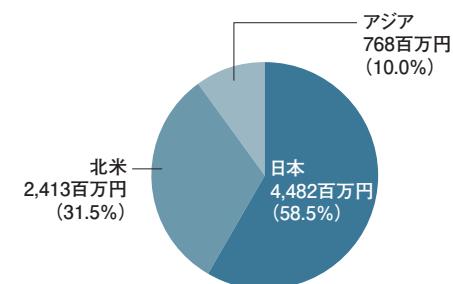
的な意見が相次ぎました。また、国内だけでなく、米国の販売子会社であるNKK Switches of America, Inc.も2019年4月に開かれた世界最大級の放送機器展「2019 NAB Show」においてソリューション事例を全面に打ち出した展示を行い、今までにない反応を得ております。グループ全体でソリューションの具現化に向けて動いており、今後の展開によってはビジネスが大きく花開くという期待を感じております。

特定市場およびネット販売の業績はいかがでしたか。

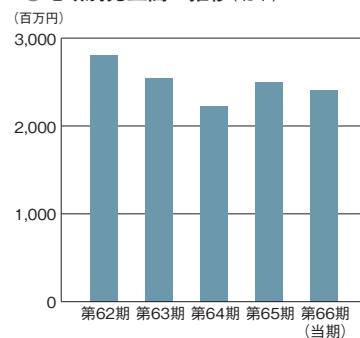
現在、当社は約300万種類のスイッチを製造し、幅広い分野でご利用いただいています。しかし、広く浅くというビジネスは景気に影響されやすいという弱点があります。そこで、市場を定めお客様と深く結ばれることで市場動向に左右されにくい企業体質にするべく、NKKブランドの高度な技術と品質を活かせる放送・音響機器、特殊車両、医療機器分野を「グローバル特定市場」として、販売を強化しております。

■ 地域別売上高の推移

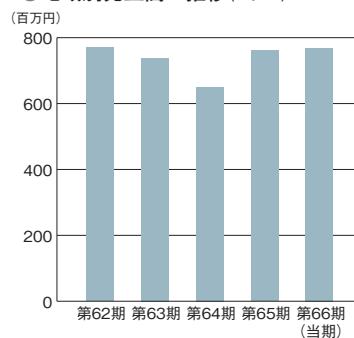
● 地域別売上高構成



● 地域別売上高の推移(北米)



● 地域別売上高の推移(アジア)



2019年3月期は北米市場でこそ放送・音響機器が調子を落としましたが、その他のエリアおよび特定市場の売上が好調でトータルでは前年同期比7%増でした。また、米国のカタログディストリビューターを中心とするネットセールスは、日本以上にネット社会であることから売上増を期待していました。しかし、米中貿易摩擦の影響から大手ディストリビューターに今後の情勢に対する様子見傾向が強まり、在庫を絞った影響が大きく、全体としては前年同期比3%増にとどまりました。

中期経営計画「Change100」について、現時点での評価をお聞かせください。

直近の経営成績は米中貿易摩擦に端を発した世界的な景気減退から計画を下方修正するなど、大幅な遅れを余儀なくされました。しかし、NKKグループとして取り組むべきテーマである単品売りからソリューションビジネスへの転換、ネット販売の活性化、特定市場での販売強化、フィリピン・マクタン工場を加えた3カ国生産体制の構築といった、次の成長に向けての施策は確実に進捗しております。また現在、判断の機軸を個別最適から全体最適へと変える中で「ムダ、ムラ、ムリ」を排除したサプライチェーンマネジメントの見直しを進めており、新たな利益の創出とお客様へのサービスを提供していきたいと考えております。さらに、国内においては働き方改革が進んでいることを踏まえ、AIやRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などを活用しながら、もっとリッチな企業体質にしていくことで競争力を強化する方針です。

2020年3月期の事業環境についてはどのように見えていますか。

現在、米国と中国の貿易摩擦問題が熾烈を極めており、どう推移し、結着するのか、まったく予測がつかない状況です。両国が互いに関税を大幅に引き上げれば、2020年3月期の

事業経営は苦しい舵とりにならざるを得ないと覚悟しています。しかしながら、当社グループの経営基盤は盤石であり、将来を見越した施策を粛々と進めてまいります。一時的に厳しい結果になったとしても、我々の努力は必ず報われるときが来ると思っています。我々自身ももっと変わるため、経営資源を活用しながら最適なタイミングでヒト、モノ、カネを投入してまいります。販売強化策としては、ソリューションビジネスを推し進め、全社を挙げて「モノ売り」から「コト売り」への転換を強力に推し進める予定です。スイッチの単品売りではなく、お客様の困り事をいかに聞き出し、解決していくことを徹底してまいります。お客様がまだ気付いていない困り事を、NKKの働きかけで気付かせるようなソリューションを提供できれば最高です。かつてのNKKブランドの武器は技術と品質でしたが、これからはソリューションを新たな武器として育てたいと考えております。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

2019年3月期は、市場全体が大きく減速傾向にある中、売上高は前年同期比0.8%減に留めることができました。その経営成績は、販売強化に取り組んだ部門が業績を伸ばしたことが寄与いたしました。当面は厳しい経営環境が続くと予測されますが、引き続き市場動向の影響を受けにくい企業体質づくりに努め、将来に向けた適切な投資を行ってまいります。

当社グループは、我々こそが「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番に選ばれるスイッチサプライヤー」になるという想いのもと、中期経営計画「Change100」を掲げて、社会の変化以上に我々自身が変わるということにこだわっております。一つでも多くの「変わる」を今後市場に提供していく所存ですので、株主の皆様には何卒ご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

NKKソリューションへの取り組み

NKKスイッチズは、ソリューションへの取り組みをグループで推進しております。ソリューションの具体的なイメージをお客様に訴求するため、スイッチバリエーション主体の展示内容から、実際に動作するデモ機を用意し、触って体感できる展示内容にいたしました。

日本では、代理店の方向けに国内3カ所でプライベートショーを開催、米国では、世界最大級の放送機器展NAB Showに出展、取り組みが具体的にわかりやすいと大変ご好評をいただきました。



NAB展示会 (米国)
グループ会社 NKK Switches of America, Inc. による出展
「PLAY HERE」「TRY ME!」と表記、ソリューションを操作可能な、触れる展示物とする取り組みを行いました。

医療市場での認知度向上に向けた取り組み

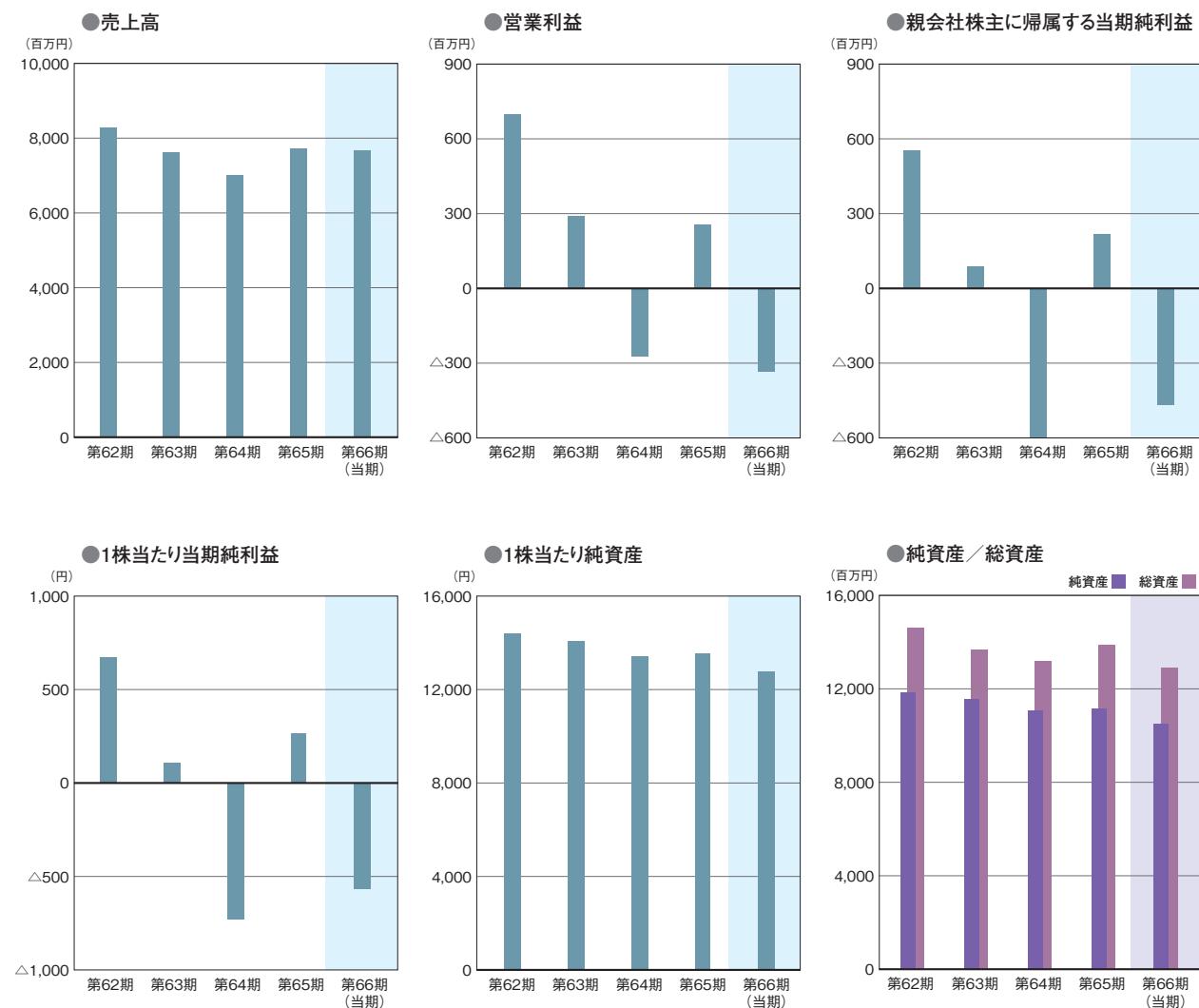
NKKスイッチズは、重点市場として、医療分野市場での認知度向上と市場調査のため、展示会への出展を行っております。このたびMedtec Japanに加え「MEDIX 関西2019」にも初出展し、多数のお客様にご来場いただき、認知度向上と、ご要望を直接うかがうことができました。NKKは今後もお客様から信頼されるブランドとしての認知を高めてまいります。



MEDIX 関西2019

Medtec Japan2019

NKKは今後も、世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーを目指し、邁進してまいります。



当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。第62期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額を算定しております。

■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成31年3月31日)	前期 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,125,388	9,813,773
現金及び預金	5,080,910	5,712,203
受取手形及び売掛金	1,223,030	1,366,706
商品及び製品	1,118,379	1,125,585
仕掛品	87,812	87,542
原材料及び貯蔵品	1,298,465	1,221,289
前払費用	48,269	44,646
その他	271,176	258,465
貸倒引当金	△ 2,654	△ 2,666
固定資産	3,787,949	3,917,211
有形固定資産	2,173,965	2,217,318
建物及び構築物	1,274,663	1,317,973
機械装置及び運搬具	271,492	280,994
工具、器具及び備品	206,493	198,948
土地	379,752	379,706
建設仮勘定	41,562	39,695
無形固定資産	137,501	160,521
投資その他の資産	1,476,482	1,539,371
投資有価証券	1,094,782	1,349,730
繰延税金資産	21,943	22,392
長期預金	200,000	—
その他	159,756	167,248
資産合計	12,913,338	13,730,985

(単位:千円)

科目	当期 (平成31年3月31日)	前期 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債	1,941,821	2,123,269
買掛金	1,057,682	1,394,318
未払法人税等	18,652	45,526
賞与引当金	105,095	106,932
役員賞与引当金	25,500	15,000
未払金	307,606	313,549
未払消費税等	3,010	975
未払費用	370,794	188,809
その他	53,478	58,158
固定負債	461,348	464,409
繰延税金負債	91,991	128,991
退職給付に係る負債	103,527	81,467
役員退職慰労引当金	170,380	158,500
その他	95,450	95,450
負債合計	2,403,170	2,587,678
純資産の部		
株主資本	10,155,037	10,705,196
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,531,705	9,081,493
自己株式	△ 161,772	△ 161,400
その他の包括利益累計額	354,766	437,908
その他有価証券評価差額金	413,180	589,175
為替換算調整勘定	△ 58,414	△ 151,266
非支配株主持分	364	200
純資産合計	10,510,168	11,143,306
負債純資産合計	12,913,338	13,730,985

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	7,664,712	7,726,179
売上原価	4,885,850	4,615,527
売上総利益	2,778,861	3,110,652
販売費及び一般管理費	3,114,593	2,856,422
営業利益又は営業損失(△)	△ 335,731	254,229
営業外収益	73,190	68,386
営業外費用	32,088	54,517
経常利益又は経常損失(△)	△ 294,629	268,099
特別損失	8,623	4,125
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 303,252	263,974
法人税、住民税及び事業税	122,410	133,039
法人税等調整額	41,660	△ 87,182
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 467,323	218,117
非支配株主に帰属する当期純利益	163	154
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 467,487	217,962

■ 連結株主資本等変動計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額			非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 計	
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株 主 資 本 合 計	その他有価証券 評価差額金	為 替 換 算 調 整 勘 定			その他の包括 利益累計額合計
当期首残高	951,799	833,305	9,081,493	△ 161,400	10,705,196	589,175	△ 151,266	437,908	200	11,143,306
当期変動額										
剰余金の配当			△ 82,300		△ 82,300					△ 82,300
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△ 467,487		△ 467,487					△ 467,487
自己株式の取得				△ 371	△ 371					△ 371
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△ 175,994	92,852	△ 83,142	163	△ 82,978
当期変動額合計	—	—	△ 549,787	△ 371	△ 550,159	△ 175,994	92,852	△ 83,142	163	△ 633,137
当期末残高	951,799	833,305	8,531,705	△ 161,772	10,155,037	413,180	△ 58,414	354,766	364	10,510,168

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	前期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 44,563	681,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 531,095	△ 412,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82,427	△ 74,703
現金及び現金同等物に 係る換算差額	26,793	△ 65,124
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 631,292	129,465
現金及び現金同等物の期首残高	5,712,203	5,582,738
現金及び現金同等物の期末残高	5,080,910	5,712,203

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成31年3月31日)	(平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,051,777	8,719,335
固定資産	4,108,540	4,362,838
資産合計	12,160,317	13,082,173
負債の部		
流動負債	2,334,288	2,474,374
固定負債	818,936	857,382
負債合計	3,153,225	3,331,757
純資産の部		
株主資本	8,593,911	9,161,241
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	6,970,579	7,537,537
自己株式	△ 161,772	△ 161,400
評価・換算差額等	413,180	589,175
純資産合計	9,007,092	9,750,416
負債純資産合計	12,160,317	13,082,173

■ 株主資本等変動計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金			自己株式			株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等
		資本準備金	資本剰余金合計		固定資産圧縮記帳積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	22,047	5,600,000	1,733,572	7,537,537	△ 161,400	9,161,241	589,175	589,175	9,750,416	
当期変動額														
剰余金の配当							△ 82,300	△ 82,300		△ 82,300			△ 82,300	
固定資産圧縮記帳積立金の取崩					△ 992		992							
当期純損失(△)							△ 484,657	△ 484,657		△ 484,657			△ 484,657	
自己株式の取得									△ 371	△ 371			△ 371	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											△ 175,994	△ 175,994	△ 175,994	
当期変動額合計	-	-	-	-	△ 992	-	△ 565,965	△ 566,958	△ 371	△ 567,329	△ 175,994	△ 175,994	△ 743,324	
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	21,055	5,600,000	1,167,606	6,970,579	△ 161,772	8,593,911	413,180	413,180	9,007,092	

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
売上高	6,695,147	6,913,310
売上原価	4,763,966	4,774,791
売上総利益	1,931,181	2,138,518
販売費及び一般管理費	2,200,762	2,031,584
営業利益又は営業損失(△)	△ 269,581	106,933
営業外収益	103,207	92,242
営業外費用	169,125	54,193
経常利益又は経常損失(△)	△ 335,499	144,982
特別損失	7,934	4,125
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 343,434	140,857
法人税、住民税及び事業税	112,891	126,860
法人税等調整額	28,331	△ 91,015
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 484,657	105,012

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結261名 単体192名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc.
ホームページ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智 成
取締役	大橋 宏 成
取締役	塚 正 勉
取締役	青 木 明 裕
取締役	飯 塚 勇
取締役	芦 澤 直 太 郎 (社外)
常勤監査役	中 村 正
監査役	吉 原 重 樹 (社外)
監査役	大 畠 勝 彰 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	465名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッジ	132	16.03
株式会社三井住友銀行	40	4.97
株式会社三菱UFJ銀行	34	4.23
大橋 宏成	29	3.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28	3.51
大橋 尚子	28	3.41
太陽生命保険株式会社	22	2.74
大橋 千津子	20	2.44
齋藤 清	19	2.39
上田八木短資株式会社	19	2.35

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

